



三徳地域だより
三徳通信
 (平成20年8月号)



地域の自立に向けて

～三徳地域協議会の活動報告～

先進地視察を行いました 岡山県倉敷市真備町へ

6月29日(日)、岡山県倉敷市真備町へ先進地視察研修に行きました。竹林再生プロジェクト会員、役員、農林観光課の方等18名が参加し、真備町竹林生産販売組合と株式会社エコライフマビで研修しました。

倉敷市真備町は、古くから竹の子の産地として全国にその名を知られ、その親である孟宗竹林が約100ヘクタールもあり、現在も白くて柔らかい竹の子を産しています。それゆえ、竹炭の材料には事欠きません。

真備町竹炭生産販売組合は、町の活性化と真備の里・竹の里・すくすく真備町をPRするため、町木である「竹」を活かした竹炭や竹酢液を生産し、炭の生活環境への効用の認識と今後高齢者社会を迎える中で生きがい対策への取組みと、更にはたけのこ生産農家の間伐材利用により農業生産の向上を図る目的で設立されました。鈴木さんから組合設立のお話や事業内容を聞いた後、この辺では一番大きいという窯や処理された竹や竹炭、竹を切る機械等を見せていただきました。

竹炭の効能はたくさんあり、空気や水の浄化に利用されたり、土壌改良剤に使われたり、竹酢液は畑、風呂などに利用されています。

株式会社エコライフマビは、竹林の荒廃を防ぎ竹資源の有効活用を目的として結成されました。

「竹水」は5月の竹の生長期に地下茎から幹を通して吸い上がる水のこと、年間約20日しか採水できない生長に不可欠な貴重な水です。若竹の生長は一晚に1メートルも伸びます。その生長の根源「竹水」の有効成分を最大限に活用して、竹水化粧品を販売しておられます。貴重な竹水を飲ませていただきましたが、甘味があり、のどごしもよく、おいしかったです。



真備町竹炭生産販売組合 竹炭窯と竹酢液



きれいに整備された竹林



(株)エコライフマビで説明を受ける



参加者の皆さん

七夕飾りを作りました

東小学童クラブの子ども達が、願い事を短冊に書いたり、ステキな飾りを作ったりして、七夕を祝いました。

風に吹かれて、笹の葉がサラサラと音立てました。みんなの願いがかないますように。



7月中旬、蓮の花が咲きました。
(三徳センターの近くで見つけました)



7月の出来事と8月の行事予定

① 7月の出来事

- 3日 区長会
- 9日 ナイトハイキング打合せ会
- 15日 田舎体験ツーリズム
- 17日 東小学校区大運動会打合せ会
- 18日 国土交通省及び鳥取県への各地域合同要望会
- 25日 役委員会
- 29日 公民館部会（運動会関係）

② 8月の行事予定

- 8日 ナイトハイキング 17:30～
- 11日 学童保育 みささ美術館見学
- 20日 学童保育 遠足（あやめ池）9:30～15:00
- 22日 東小学校区大運動会合同打合せ会（東小・小鹿・三徳地域）
- 24日 東小学校奉仕作業 6:00～8:00
- 31日 東小学校区大運動会のチラシ全戸配布

※学力アップ講座（7月29日、8月5・12・19日）三徳センター

三徳句会作品

朝涼の畑仕とりわけ拂りて
唇に泡つつみ込みビール飲む
古団扇一人の時間それもよし
空模様伺ひ妻の梅を干す
さらさらと花南天の散りにけり
旅靴汗の重さを持ち帰る
枕辺の灯り消すより蛍の灯

千鶴子
しのぶ
和子
博子
佐和子
節子
入江則仁

三徳センターのお申し込みについて

- 1 三徳センターご利用の際には、必ず事前に予約をしてください。（電話、FAX、メール可）
- 2 三徳センターはみんなの施設です。施設のきまりを守りましょう。～来たときよりも美しく～

【三徳地域協議会】

事務局 岩本節子 【三徳センター】 電話 43-1939 (FAX兼) Eメール mitoku@town.misasa.tottori.jp
地域主事 佐々木敦宏・藤井紀好【役場地域振興課】 電話 43-3515 FAX43-0647